

メッセージ

message

光星高生、訪韓し交流

○…八戸市の光星学院高校(法
官新一校長)の1年生6人がこの
ほど、姉妹校である韓国ソウル市
の東北(トンプク)高校を訪問す
る4日間の国際交流親善旅行に参
加した。生徒たちは「東日本大震
災の心配をしてくれた」と交流の
成果を実感している。
東北高は中高一貫の男子校で、
文武両道に力を入れる名門。光星

高は1985年に姉妹校となり、
修学旅行やサッカー部の親善試合
を通じて交流を深めている。

震災時に東北高校長から激励の
メッセージが送られたことへのお
礼の意味も兼ね、初の一般の生徒
代表による訪韓を企画した。

「一番の思い出は、東北高の生
徒との交流会」と沼田佑佳さん。
櫻庭舞さんも「日本語で一生懸命
話そうとしたり、震災の心配をし
てくれたりして、うれしかった」
と振り返った。



韓国・東北高の生徒たちと交流する、左から
田中杏奈さん、中山美憂さん

関川結花さんはソウ
ル市内の様子を「ほと
んど日本と同じよう
な感じがわい」、中山美
憂さんは双眼鏡で見た北
朝鮮について「緑豊か
な韓国側に比べ、植物
が生えていない山々ば
かりで寂しい印象」と
両国の違いを語った。
工藤真菜さんは
「異文化に触れ、視野
が広がった」、田中杏
奈さんは「言葉の壁が
あっても、頑張ってコ
ミュニケーションを図
ることの大切さを学ん
だ」と成果を強調し
た。